

日本機械輸出組合は、わが国主要プラント・エンジニアリング輸出企業に対し、海外成約アンケート調査を実施し、この度本調査の概要を取りまとめましたので公表致します。

2012 年度海外プラント・エンジニアリング(PE)成約実績調査 ～過去 3 番目の実績、昨年度実績の更新ならず～

1. 2012 年度海外PE成約実績概況について

(1) 全体的概況(図 1、表 1 参照)

- ①2012年度の海外成約総額は、250.3 億ドル(対前年度比▲8.9%)となり、過去最高であった昨年度実績を下回り、過去3番目の成約実績となった。
- ②本邦からの輸出額も、過去3番目の実績(138.7 億ドル、対前年度比▲4.2%)となった。
- ③成約件数は、638 件(対前年度比 1.6%増)であった。

(2) 地域別概況(図 2、表 2 参照)

- ①成約額上位3地域は、アジア(154.8 億ドル、対前年度比 33.0%増)、その他地域(ロシア・旧ソ連等)(27.1 億ドル、同 1,043.4%増)、中東(20.3 億ドル、同 93.8%増)となり、アジアとその他地域が過去最高の実績となった。
- ②2010 年度に初めて 100 億ドルを超えたアジア地域は、今年度も引き続き 100 億ドルを突破した
- ③昨年度 2 番目に成約額が大きかった、大洋州(0.3 億ドル)は前年度比▲99.6%と大幅に落ち込んだ。
アジア地域の内訳を見ると、中国は 10.8 億ドル(前年度比▲11.1%)、ASEAN 五カ国向け実績は 28.3 億ドル(同▲40.4%)と共に減少している。他方、両地域以外の新興国向け実績が大きく伸びた。

(3) 機種別概況(図 3、表 3 参照)

- ①機種別では、生活関連・環境プラント、情報・通信プラント、交通インフラ、エネルギープラントが前年度比増加し、発電プラント、化学プラント、鉄鋼プラント、一般プラントは減少した。
- ②成約額上位 3 機種は、エネルギープラント(96.2 億ドル、対前年度比 12.1%増)、発電プラント(50.3 億ドル、同▲51.3%)、交通インフラ(36.8 億ドル、同 719.9%増)となった。
エネルギープラントは前年度実績を更に伸ばし過去 2 番目の実績となった。交通インフラも不振の昨年度から大幅に増加し、過去 2 番目の実績を記録した。他方発電プラントは、前年度と比べて成約額が半減した。
- ③生活関連・環境プラント(30.3 億ドル、前年度比 200.3%増)は、例年機種別で下位にあったが、本年度は大型案件の成約もあって、大幅に実績を伸ばし、過去最高の成約額となった。

2. 海外競合国との比較

(1) 全体的概況 (図 4-1 参照)

2012 年度のわが国 PE 成約実績は 250.3 億ドルで、前年比で約 9% の減少であったが、海外競合国である韓国、ドイツ、米国も、中国を除き、いずれも 2011 年実績を下回った。中国の 2012 年の実績は 1,565 億ドルで、2011 年比で 10% 増となっている。韓国の実績は、648 億ドルで、前年の 650 億ドルからわずかに実績を落としている。ドイツと米国は、それぞれ 2011 年比で、17% 減、26% 減となっており、下落幅が大きい。韓国の輸出実績は、2010 年以降横ばいであり、近年は中国の伸長が際立っている。

(2) 機種別概況 (図 4-2、図 4-3 参照)

わが国の電力プラント成約実績は、前年比で 51.3% 減と大幅に下落しているのに対して、韓国の電力プラントの成約実績は 2011 年からわずかに増加している。大型案件があった 2010 年の数字には届かないものの、堅調に実績を重ねていることがうかがえる。

他方、エネルギー・化学プラントについては、わが国は前年比で 12.5% 増であった。韓国の成約実績は 184 億ドルで、前年比でわずかに増加している。

(参 考)

(1) 大型案件の状況 (表 4 参照)

- ① 2012 年度の大規模案件は 42 件、206.6 億ドルとなった。12 年度上期はやや低調(大規模案件は 16 件)であったが、下期に持ち直し、通期の件数では 2006 年の 42 件と同じ過去最高の件数となった。
- ② 大規模案件の成約総額に占める割合は、近年 6 割台の後半で推移していたが、2009 年度および 2010 年度は約 75% を占めるに至った。さらに、2011 年度の大規模案件の占める割合は 80.2% と、初めて 8 割を上回ったが、本年度は更にこの割合を上回った(82.5%)。大規模案件の成約実績に与える重要性がより高まっている。

(2) 成約実績上位 10 カ国

- ① 成約上位 3 カ国は、ベトナム、パキスタン、カザフスタンである。
- ② 過去 3 年間上位 10 カ国に入っている国は、インドネシア、中国、台湾のみである。
- ③ 上位 10 カ国が全成約総額に占める割合は増加し、全体の 76.3% を占めている。

以上

(図 表 編)

1. 成約実績全体の推移

図 1. PE 成約実績(全体)の推移

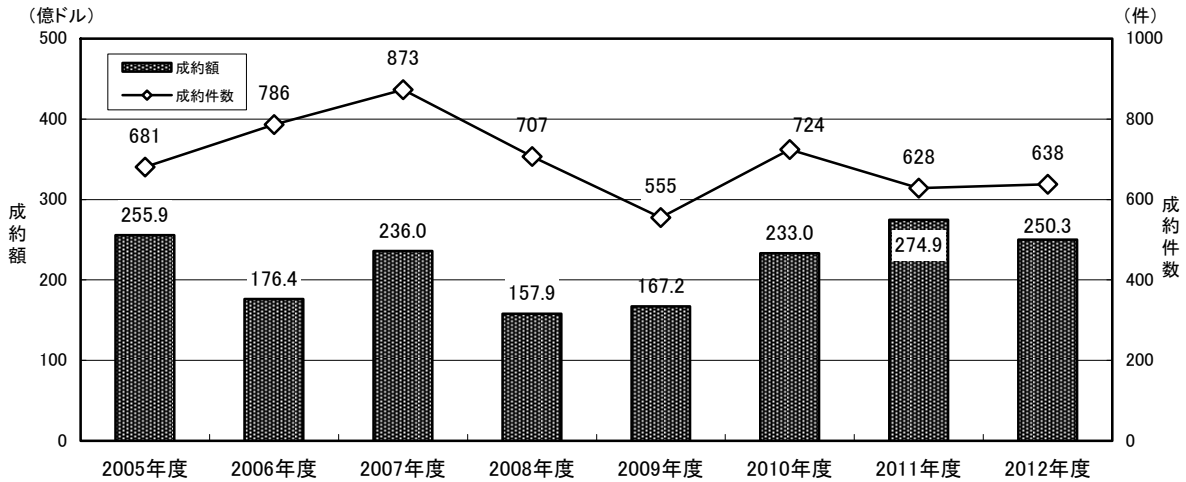


表 1. PE 成約実績 (全体) の推移

	件数(件)		成約額(億ドル)		海外調達状況		
		対前年度比(%)		対前年度比(%)	本邦輸出額(億ドル)	海外調達額(億ドル)	海外調達比率(%)
2004 年度	712	3.2%	191.3	2.5%	103.8	87.5	45.7%
2005 年度	681	▲ 4.4%	255.9	33.8%	125.3	130.6	51.0%
2006 年度	786	15.4%	176.4	▲ 31.1%	124.2	52.2	29.6%
2007 年度	873	11.1%	236.0	33.7%	143.7	92.3	39.1%
2008 年度	707	▲ 19.0%	157.9	▲ 33.1%	108.9	49.0	31.0%
2009 年度	555	▲ 21.5%	167.2	5.9%	99.5	67.7	40.5%
2010 年度	724	30.5%	233.0	39.4%	129.5	103.5	44.4%
2011 年度	628	▲ 13.3%	274.9	18.0%	144.7	130.2	47.4%
2012 年度	638	1.6%	250.3	▲ 8.9%	138.7	111.6	44.6%

(注1) 上表の数値については、2008 年度上期調査から実施された調査対象金額の変更に合わせて成約額 100 万ドル以上の案件を対象に再集計し、また、2008 年度上期の実績に関して訂正があったものについては、当該訂正に合わせて 2008 年度の数値を再集計している。従って、本表の数値と過去の報告書の掲載結果とは一致しない。

(注2) 成約額、本邦輸出分、海外調達分との関係は次の通りである。成約額 = 本邦輸出額 + 海外調達額

(注3) 四捨五入の関係で合計が合わない箇所がある。

2. 地域別実績の推移

図2. 地域別実績の推移

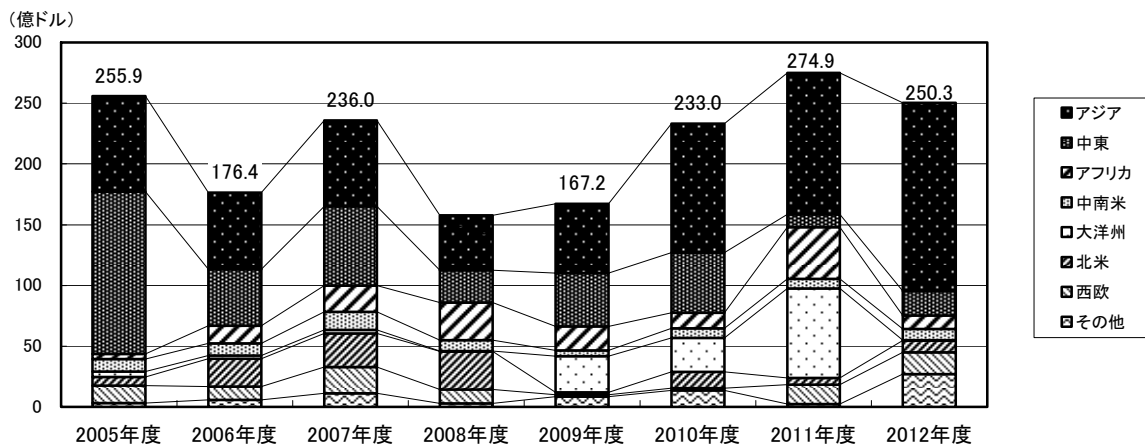


表2. 地域別実績の推移

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
全体		255.9 (33.8%)	176.4 (▲31.1%)	236 (33.8%)	157.9 (▲33.1%)	167.2 (5.9%)	233.0 (39.4%)	274.9 (18.0%)	250.3 (▲ 8.9%)
地域別	アジア	78.6 (▲19.3%)	63.0 (▲19.8%)	70.7 (12.2%)	45.4 (▲35.8%)	57.1 (25.8%)	106.1 (85.8%)	116.4 (9.7%)	154.8 (33.0%)
	中華人民共和國	12.2 (▲63.4%)	12.4 (1.6%)	10.5 (▲15.3%)	13.3 (26.7%)	9.4 (▲29.3%)	14.9 (58.5%)	12.1 (▲18.8%)	10.8 (▲11.1%)
	ASEAN5	29.2 (▲31.0%)	18.4 (▲37.0%)	21.6 (17.4%)	17.0 (▲21.3%)	23.9 (40.6%)	43.3 (81.2%)	47.5 (9.7%)	28.3 (▲40.4%)
	中東	133.5 (161.8%)	46.6 (▲65.1%)	65.3 (40.1%)	26.4 (▲59.6%)	44.0 (66.7%)	49.5 (12.5%)	10.5 (▲78.8%)	20.3 (93.8%)
	アフリカ	4.4 (▲37.1%)	14.4 (227.3%)	21.5 (49.3%)	31.1 (44.7%)	19.5 (▲37.3%)	12.9 (▲33.8%)	42.6 (230.2%)	11.0 (▲74.2%)
	中南米	10.3 (18.4%)	10.2 (▲1.0%)	15.1 (48.0%)	9.0 (▲40.4%)	4.7 (▲47.8%)	7.9 (68.1%)	7.8 (▲0.9%)	9.3 (18.8%)
	大洋州	4.4 (29.4%)	2.6 (▲40.9%)	2.9 (11.5%)	0.4 (▲86.2%)	29.7 (7,325.0%)	27.8 (▲6.4%)	73.6 (164.6%)	0.3 (▲99.6%)
	北米	7.1 (▲26.8%)	22.8 (221.1%)	27.5 (20.6%)	31.2 (13.5%)	2.3 (▲92.6%)	13.3 (478.3%)	5.5 (▲58.3%)	9.6 (73.2%)
	西欧	14.5 (25.0%)	11.1 (▲23.4%)	21.6 (94.6%)	11.7 (▲45.8%)	1.6 (▲86.3%)	1.8 (12.5%)	16.1 (795.6%)	17.9 (11.2%)
	その他	3.2 (28.0%)	5.7 (78.1%)	11.4 (100.0%)	2.8 (▲75.4%)	8.3 (196.4%)	13.8 (66.3%)	2.4 (▲82.8%)	27.1 (1,043.4%)

(注) 単位：億ドル

(注) 各地域の2段目の値は前年度比 (%)

(注) ASEAN5：インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア

3. 機種別実績の推移

図3. 機種別実績の推移

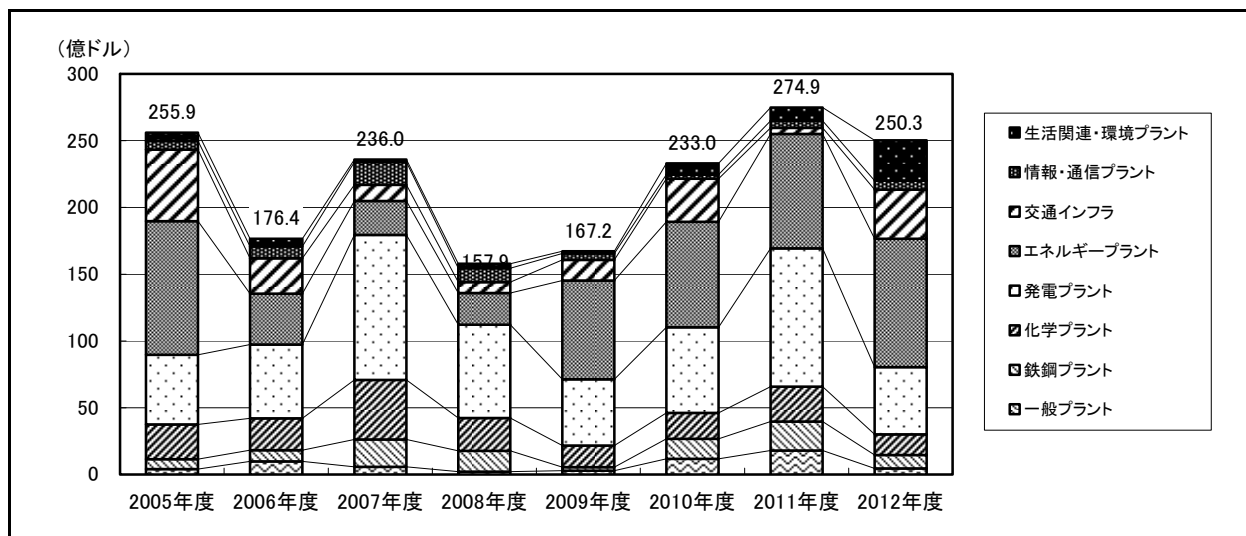


表3. 機種別実績の推移

単位：億ドル

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
全体	255.9 (33.8%)	176.4 (▲31.1%)	236.0 (33.7%)	157.9 (▲33.1%)	167.2 (5.9%)	233.0 (39.3%)	274.9 (18.0%)	250.3 (▲8.9%)
生活関連・環境プラント	6.1 (41.9%)	5.5 (▲9.8%)	2.0 (▲63.6%)	3.3 (65.0%)	1.7 (▲48.5%)	8.3 (388.2%)	10.1 (22.3%)	30.3 (200.3%)
情報・通信プラント	6.4 (14.3%)	8.9 (39.1%)	17.0 (91.0%)	10.5 (▲38.2%)	4.7 (▲55.2%)	3.3 (▲29.8%)	5.3 (59.8%)	6.6 (25.7%)
交通インフラ	53.6 (79.3%)	26.7 (▲50.2%)	12.2 (▲54.3%)	8.1 (▲33.6%)	15.6 (92.6%)	32.3 (107.1%)	4.5 (▲86.1%)	36.8 (719.9%)
エネルギープラント	100.1 (58.1%)	38.0 (▲62.0%)	25.3 (▲33.4%)	23.6 (▲6.7%)	74.0 (213.6%)	78.8 (6.5%)	85.8 (8.8%)	96.2 (12.1%)
発電プラント	52.2 (▲0.9%)	55.2 (5.7%)	108.6 (96.7%)	70.0 (▲35.5%)	49.5 (▲29.3%)	64.3 (29.9%)	103.5 (61.0%)	50.3 (▲51.3%)
化学プラント	26.0 (44.4%)	23.9 (▲8.1%)	44.4 (85.8%)	24.7 (▲44.4%)	16.2 (▲34.4%)	19.2 (18.5%)	26.2 (36.4%)	15.5 (▲40.9%)
鉄鋼プラント	7.4 (▲29.5%)	8.4 (13.5%)	20.6 (145.2%)	15.6 (▲24.3%)	2.7 (▲82.7%)	15.1 (459.3%)	21.6 (43.6%)	10.1 (▲53.5%)
一般プラント	4.0 (▲43.7%)	9.9 (147.5%)	5.8 (▲41.4%)	2.1 (▲63.8%)	2.8 (33.3%)	11.8 (321.4%)	18.0 (52.3%)	4.5 (▲74.8%)

(注) 2段目の値は前年度比伸び率

(参考 1) 大型案件(1億ドル超案件)の状況

表4 大型案件の状況

	2011年度	2012年度
①件数	40件(11.1%増)	42件(5.0%増)
全件数に占めるシェア	6.8%	6.6%
②金額	220.6億ドル(25.8%増)	206.6億ドル(6.3%減)
総額に占めるシェア	80.2%	82.5%

(参考 2) 成約実績上位10カ国

表5. 成約実績上位10カ国の推移

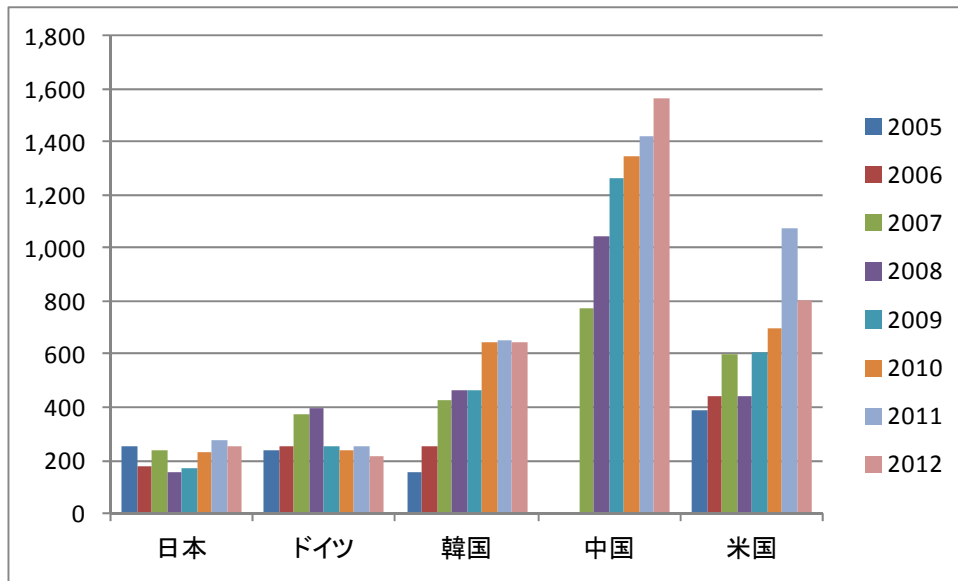
単位:億ドル

	2010年度			2011年度			2012年度		
	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合
1	カタール	30.3	13.0%	オーストラリア	73.1	26.6%	ベトナム	67.8	27.1%
2	バブアニューギニア	23.4	10.0%	台湾	24.6	9.0%	パキスタン	26.2	10.5%
3	インドネシア	20.9	9.0%	エジプト	24.3	8.8%	カザフスタン	16.8	6.7%
4	中華人民共和国	14.9	6.4%	大韓民国	22.7	8.3%	サウジアラビア	15.1	6.0%
5	台湾	14.0	6.0%	タイ	17.6	6.4%	英国	14.1	5.6%
6	アメリカ合衆国	13.1	5.6%	トルコ	12.9	4.7%	インドネシア	13.2	5.3%
7	ロシア	11.5	4.9%	マレーシア	12.5	4.6%	中華人民共和国	10.8	4.3%
8	タイ	10.7	4.6%	中華人民共和国	12.1	4.4%	エジプト	9.3	3.7%
9	アラブ首長国連邦	10.7	4.6%	インドネシア	9.2	3.3%	アメリカ合衆国	8.9	3.6%
10	ベトナム	10.5	4.5%	アンゴラ	9.1	3.3%	台湾	8.8	3.5%
	上位10カ国計	160.0	68.7%	上位10カ国計	218.2	79.4%	上位10カ国計	191.0	76.3%

4. 海外主要国とのPE 輸出競争状況

図4-1 主要国の海外PE受注実績(2007~2012年)

単位：億ドル



米国:ENR Top 400 Contractors の International New Contract のデータ (注)土木・建設が多い。機種別詳細は不明。

ドイツ:VDMA プラント・エンジニアリング統計、海外受注より

07年:Euro=1.4\$ 08年:Euro=1.5\$ 09年:Euro=1.4\$ 10年:Euro=1.37\$ |11年:Euro=1.39\$ |12年:Euro=1.28\$ で計算

韓国:知識經濟部、海外プラント受注統計より

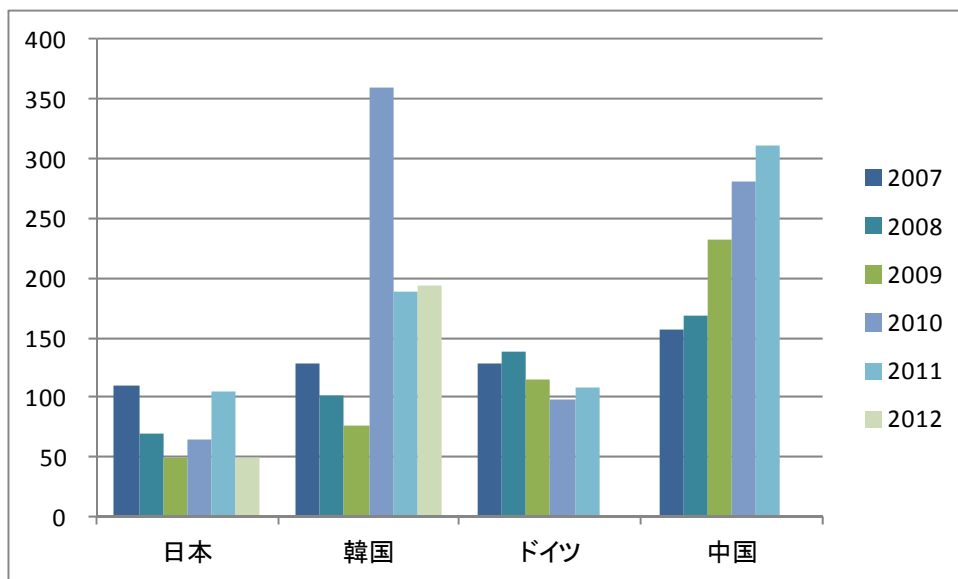
中国:商務部、対外承包工程統計、新規受注高より (注)土木・建築が比較的多い

日本:海外プラント・エンジニアリング成約実績 (注)日本のみ年度ベース

(注)韓国統計には掘削リグ船、FPSOなどの海洋部門を含む。中国統計には海外建設・建築も含む。

図4-2 主要国の電力プラント輸出推移

単位：億ドル

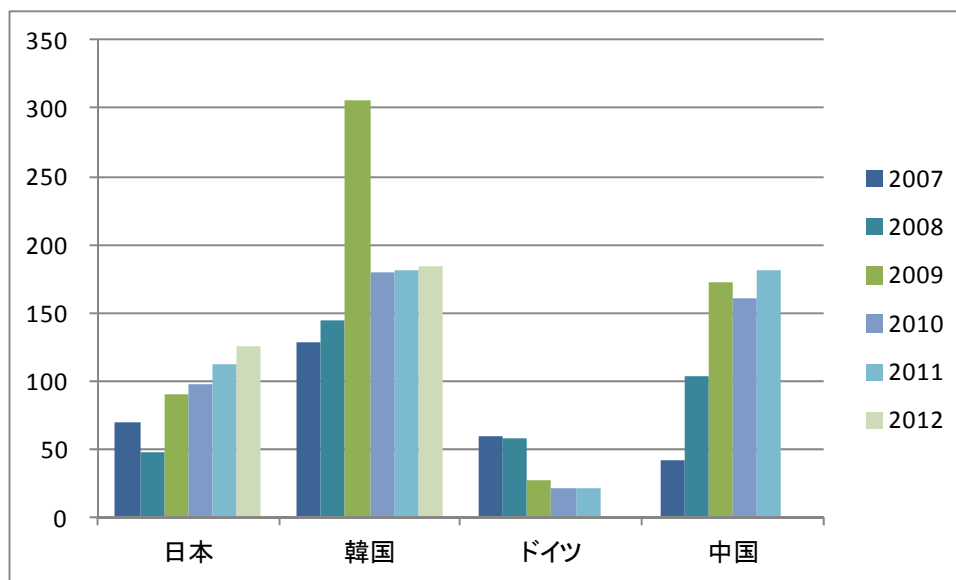


出所：同上

注：日本－発電プラント、ドイツ－電力プラント、韓国－発電・淡水プラント、中国－電力プラント（2012年データは未入手）

図4-3. 主要国のエネルギー・化学プラント輸出推移

単位：億ドル



出所：同上

注：日本－エネルギープラントと化学プラントの合計

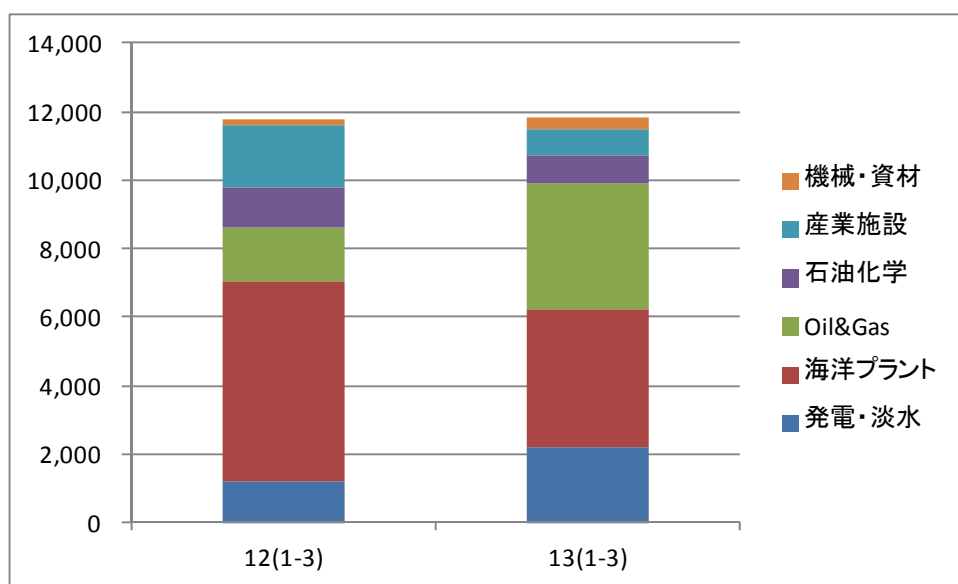
ドイツ－ 化学プラントおよび空気・ガス液化設備の合計

韓国：石油化学プラントおよびオイル&ガスプラントの合計

中国：石油化学プラント(2012年データは未入手)

5. 韓国の2013年第一四半期 PE 海外受注実績（参考）

- ①2013年第一四半期の韓国のPE海外受注実績は、118.28億ドルを記録した。2012年第一四半期の117.51億ドルと比較すると0.7%の増加である。
- ②韓国知識経済部は、世界的には景気が低迷したにもかかわらず、欧州での大型海洋プラントやベトナムでの大型石油・ガスパラント受注が、全体の受注実績の増加につながったとしている。また、ウズベキスタンやアゼルバイジャンといった新興市場でも受注を記録し、従来中東に偏重していた受注実績が多角化している。
- ③中東、アフリカ、南北アメリカ地域での実績は、2012年同期比でそれぞれ50%以上下落しているが、知識経済部はこれらの地域で今後プロジェクトの発注が期待されるため、受注も拡大すると見込んでいる。



韓国知識経済部、海外プラント受注統計より。 単位:100万ドル

なお、中国商務部によると、2013年1月から5月までの中国のPE海外受注実績は、565.2億ドルで前年比28.9%増となっている。

以上